

「各世代が笑顔あふ

ー住み続けたいまちづくり、暮らしている

令和4年度一般会計決算は、歳入総額 115 億 123 万 8,000 円、歳出総額 107 億 718 万 7,000 円、令和4年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり新型コロナウイルス令和2年度に次ぐ規模となった。個人町民税は、譲渡所得や給与所得等の増加、固定資産税は、新築

評価

○子育て支援関連

子ども家庭総合支援事業

(支援の必要な子どもとその家庭及び妊産婦等に対する相談体制の強化)

低所得子育て世帯生活支援特別給付金の給付

(子育て世帯への経済的支援：1児童あたり5万円)



○福祉・健康・社会保障関連

「松伏町保健センター建設基本計画」報告書のとりまとめ

(老朽化した保健センターの建て替えにより、町民の健康増進と利便性の向上策を検討)

結婚新生活支援事業 (令和4年度支給件数：10件)

(本町に転入、町内で転居した若者世帯の結婚に伴う新生活への支援)

高齢者タクシー券・バス券の支給

(利用者数：タクシー券 617人、バス券 677人)



○生活基盤整備関連

町道3号線の拡幅工事と町道8号線の舗装修繕工事

都市公園の照明のLED化を図るための設計業務実施



○人権・男女共同・地域コミュニティ関連

日本初の国産カレー粉の製造に成功したエスビー食品の創業者山崎峯次郎の「偉人マンガ」の製作

(子どもたちの郷土愛の醸成に努めた)

○産業振興関連

農業者支援給付金の支給

(原油価格・物価高騰による農業用資材や燃料、肥料等の購入に伴う支援：71営農者)

松伏町みんなで応援商品券事業 (1世帯：1万5,000円の支給)

(物価高騰による町民生活の負担軽減、町内小売業等の活性化のため)

「松伏ふるさとカレー」スタンプラリーの実施

(町の認知度向上を図り、魅力発信を実施)

「松伏田島産業団地整備事業」の完了

(令和4年7月に各企業への引渡し完了)

107億719万円

れるまちづくり」認定

ことが楽しいまちづくりー

歳入歳出差し引き残高7億9,405万1,000円。実質収支は、6億4,064万3,000円となった。感染症対策、同時に物価高騰対策として、町民の支援事業を積極的に実施し、歳入歳出ともに、家屋の増加や償却資産の増加により町全体の歳入は増額となった。

○行財政運営関連

各種証明書のコンビニ交付の開始
「松伏町第6次総合振興計画」の策定着手

○生活環境関連

「松伏町防災備蓄センター」の建設、非常用電源設備の設置
(避難者3日分の食料、資機材を備蓄)

都市公園等維持管理事業

(田中第三公園、田中第四公園、くすのき公園に遊具設置)



田中第三公園



田中第四公園



松伏町防災備蓄センター



備蓄食材・資機材

課題

- 高齢者に対する交通手段（主に通院、買い物）の充実
- 若者や就業者に対する交通手段（主に近隣駅へのアクセス）の充実
- 子ども達が集える「にぎわいの場」の提供
- スポーツ施設の充実
- 扶助費（主に高齢者及び障がい者にかかる費用）の増大
- 職員に求められる仕事の多様化による負担増
- 町内小中学校（5校）の計画的修繕
- 生活道路の整備

討論

賛成討論 自民クラブ

最少の経費で最大の効果が出るように努めていただきたい。新型コロナウイルス感染症対策、また、エネルギー価格高騰による物価高騰対策として、町民の皆様の様々な支援事業が実施されたことを評価。防災備蓄センターと非常用電源設備の整備に加え、リサイクルセンターの整備が進められ、より一層の総合的なごみ処理の推進に期待。地域公共交通の充実、高齢者の交通手段の確保等に努めていただくことを期待。生活道路の整備の要望に対し、まだ十分な対応ができていない。今後は、限られた財源の中で、町民の皆様からの要望に応えられるよう、より一層の生活道路の整備に期待。町民の声を聞き、ニーズを的確に捉え、効果的、効率的な町政運営に取り組んでいただくことを希望。

賛成討論 公明党

令和4年度は、コロナやウクライナ侵攻による物価高騰、降ひょうによる被害も発生。ふるさと納税、LINEスタンプ、偉人漫画の制作と活用、生活サポート事業、屈折検査の導入、医療用ウィッグ購入補助、防災備蓄センターの整備、外国人の方向けハザードマップ、結婚新生活支援事業、こども医療費の現物給付、計画的な道路の維持管理、都市計画図修正業務、GIGAスクール構想など評価。新型コロナウイルス感染症の対応に追われた年で、実質公債比率や将来負担比率は改善しているものの、経常収支比率は悪化した中、交付金を活用した事業などを行い、町内中小事業者の売上げの向上、町民の生活支援に寄与し、効果があったと評価。今後は、多くの町民の希望を正面から受け止め、基金の活用も含め、その推進を期待。

賛成討論 チェンジ松伏・無所属クラブ

時代のニーズに応じた取組を展開。交付金を活用したクーポン事業など、経済を支える施策、住民の健康と生活を守るための取組を進めた。証明書のコンビニ交付システムを導入し、町民ニーズの変化に柔軟に対応。庁内の情報系システムについて、無線LANを導入。さらなる効率化と効果的なサービス提供を実現する取組で評価。新型コロナワクチンの早期の接種体制の確保ができたことは大いに評価。町民の声をしっかりと捉え、時代の変化に応じた施策を実施していくことが必要。町民の利益を最優先に考え、各施策の実効性と効率についても、町民の生活の質を向上させるための取組を続けることを期待。

反対討論 日本共産党

新型コロナ対応や関連した支援を評価する。町の法人町民税について、資本金1億円以上の法人に対して税率を上げる、不均一課税の導入を。町のインフラ整備等の財源に資するようにしていただきたい。子育て支援の充実は一步前進したと評価。医療費無料制度の18歳までの拡大については早く取り組まれることを求める。保育等についても、多様な仕事の仕方があり、土日の保育にもニーズがあり、改善を求める。生活道路については、細かな要望に対応しきれていない。公園についても、遊具、除草や樹木等の管理が不十分で改善を求める。不登校の子供たちをなくすために努力していただきたい。